

学校運営計画 (H28, 4月)		A: 実施できた	B: 課題が残るがほぼ実施できた	C: 次年度への課題に関して再検討が必要	
学校運営方針	建学の精神を尊重しつつ、社会に有益な人材を輩出するための教育を充実させる。 そのために、基礎基本に関して定着の徹底を行い、即戦力となる人材育成のため実践的な教育を継続する。 また、日常生活に即して、家庭及び社会生活に適応する知識と経験を習得させる。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			評価 (H29, 3月)
<p>本学園は、創立80周年を越えて、これから創立90周年を目指して活動していくところである。、そこで、建学の精神に則り、今後とも生徒の学力向上と進路希望の達成に向けた取り組みを継続しなければならない。</p> <p>介護福祉科は、最終学年で受験する介護福祉士国家試験で過去数年は合格率80%超え、学科が設定した目標を上回っている。また、介護職員初任者研修も実施して、国家試験だけでなく、他の資格取得にも積極的に取り組むことができた。</p> <p>キャリアビジネス科では、簿記や珠算・電卓、ビジネス文書などの各種検定における上位級取得を目指している。昨年度達成した、3種1級取得の生徒輩出を次年度も達成できるよう努めていく必要がある。</p> <p>介護福祉士国家試験数増加のために、徹底した授業時間数の確保が必要である。そのため、学校行事の精選や土曜日授業の実施、夏季休業中の授業導入など、生徒の学力向上を目指した新しい取り組みを始めることができた。</p>	● 建学の精神に基づく教育の深化	◎ 「勤労愛好」、「感謝報恩」、「自主自立」を尊重する態度を養う。	C	B	
	● 人権・同和教育の充実を図る	◎ 人権・同和教育の授業充実を目指して、生徒の発達段階に応じた教材の選定とカリキュラムの作成、および指導案作成を行う。	B		
	● 基礎学力の向上と定着を図る	◎ 各教科での教材研究や各種研修会への参加を通して、各教員の指導力を上げる。	B		
	● 教育環境を充実させて、教員の教科指導力と生徒指導力の向上を目指した指導方法やあり方を工夫する	◎ 教育内容や授業における指導方法の再検討を行う。	B	B	
		◎ 教育課程の編成・実施の見直しを行う。	A		
	● 生徒が自ら自分を省みる機会を作る	◎ 校則の遵守、挨拶の励行、始業終業時間の徹底を行う。	A	B	
		◎ 制服を正しく着用すること、公共マナーの指導を行う。	B		
		◎ 生徒による積極的なボランティア活動参加を支援する。 (授業の一環に東北震災復興支援活動を導入していく)	C		
	● 生徒の多様な進路希望に対応できる進路指導体制を強化し、資格検定合格者数を向上させる	◎ 進学・就職にかかわらず、生徒の進路希望を達成できるように進路講演会や進路説明会に参加する。	B		
	● 研修を通して、教職員の資質向上を図る	◎ 外部講師招聘による講習を開催したり、社会貢献活動に参加して、教職員として資質向上を行う。	B		
● 同窓生を含む学園関係者に、本校の教育活動への理解を深めてもらうための広報活動を行う。	◎ 近隣の小中学校の要請に応じて、学校外での出前授業に積極的に参加する。	C	C		
● 校内の活動だけでなく、郊外の外部機関との連携を図り、生徒の学習活動を積極的に応援する	◎ 校内の教育活動や教育内容を記した学校だよりの作成と配布を行う。	C			